令和6年度第1回坂井市地域公共交通会議 会議録

開催日時 令和6年6月14日(金)午前10時00分～
場 所 多目的研修集会施設3階 大ホール
出席者 三寺会長
住民代表: 南委員、五十嵐委員、高岡委員、竹内委員
関係機関: 大館委員、中出委員(代理出席)、辻委員、山本委員、黒瀬委員、
清水委員、吉川委員、刀根委員(代理出席)、奥野委員、島田委員
事業者: 佐々木委員、増田委員、矢崎委員、松田委員
関係部署: 中田委員、細川委員、北出委員、村中委員 (計23名)
欠席者 住民代表: 杉本委員、林田委員
関係機関: 小林委員 (計3名)
事務局 生活環境部・小針部長、公共交通対策課・伊藤課長、小林、平尾、渡辺、藤田

1. 開会

事務局の報告及び委員紹介
委員出席状況・会議成立(23/26人)を報告

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 会長選出

互選の結果、福井工業大学三寺委員に決定

5. 会長あいさつ

6. 報告事項

- (1) オンデマンド型交通・コミュニティバスの運行実績について (資料1・資料2)
- (2) 坂井市交通分析シートについて(資料3)
- (3) えちぜん鉄道の運行実績について(資料4)
- (4) ハピラインふくいの運行実績について(資料5)
- (5) 坂井市公共交通会議財務規程の制定について(資料6)
- (6) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(資料7)

(それぞれの資料に沿って説明)

7. 協議事項

(1) 坂井市地域公共交通計画(R3策定)の目標値の内容見直しについて(資料8)

<事務局> (資料8に沿って説明)

<三寺会長>

指標2の説明の文章が少し長いと思われるが、また、算出根拠について「※」などで注釈を加えた方が良くも思うが、福井運輸支局の大館委員はどのように感じたか。

<福井運輸支局・大館委員>

説明文章は若干長いかもしれないが、わかりやすい方が良いので、問題ないと思う。算出根拠についてはオンデマンド型交通に係る経費を加えて計測するとは書いてあるが、確かに具体的な書きぶりではないので、どのルートのどの数値を使うというのが書いてあっても良いと思われる。

<三寺会長>

こちらについては、口頭で説明されているので、事務局と相談して、一任で根拠を出したい。交通計画については、大事なのは第5章の部分なので、委員の皆さんも改めてご確認いただけると良いと思う。

【その他質疑なし】

【賛成全員につき、協議事項承認】

(2) 次期坂井市地域公共交通計画の策定について(資料9)

(3) 令和6年度坂井市地域公共交通会議収支予算(案)について(資料10)

一括協議

<事務局> (資料9、10に沿って続けて説明)

<三寺会長>

このメンバーで公共交通計画の検討をしていくため、通常の協議事項プラスアルファでお願いすることになるが、2か年かけて検討するスケジュールなので、丁寧に協議していけると思っている。

【質疑なし】

【賛成全員につき、協議事項承認】

(4) 監事の選出について

<事務局> 吉川委員(坂井市商工会事務局)を提案

【賛成全員につき、協議事項承認】

8. その他

(1) 竹田地区における地域交通のあり方について (資料11)

<事務局>

坂井市オンデマンド型交通、通称イータクは、運行開始より1年半ほどが経過し、市民認知度とともに、市民の移動利便性は一定の向上が図られているものと認識している。

現在、イータクエリア外となっている丸岡・竹田地区からは、同様のサービス導入について強い要望があったところだが、交通事業者と協議を重ね、竹田地区までエリアを拡大できる展望となった。現段階では、今後の方針という形での報告だが、10月を目標にエリアを拡大し、まずは実証運行という形でスタートしたいと考えている。併せて、竹田地区でのイータクの運行に伴い、現行の「竹田乗合タクシー線」については、利用の少ない平日の便を一部減便することも検討している。

現在、これらのことについて、地域、交通事業者様等を交えて協議・調整をしているところであり、通学用途、観光需要も考慮し、市役所内でも部局を超えて調整しているところである。

次回の会議では、具体的な停留所や、エリアの区分け等について、協議をお願いしたいと考えている。

【質疑なし】

6. 閉会

次回開催予定 8月27日(火) または 8月28日(水)